

コミュニティ・スクールだより

令和2年12月23日(水)
山田中学校
学校運営協議会

令和2年度も残り3ヶ月となりました。12月10日には駅伝・ロードレース大会が行われ、大変盛り上がりました。その後、学校保健委員会で「スマホ社会の親力とは」を演題として66名の保護者対象に講話を実施しました。また、12月初旬には、2年生が長崎方面へ修学旅行に出かけました。1日目は長崎原爆資料館の見学と平和公園での平和集会でみんなで折った千羽鶴を奉納しました。2日目の長崎市内での班別自主研修、3日目のグリーンランド（熊本）、3日間とも天気に恵まれ、無事終えることができました。1年生は、社会福祉協議会の方を講師として福祉に関する知識を深めることができました。3年生は、三者相談も終わり、進路が決定し受験シーズンの到来です。運動部活動は、6月から7月にかけて、吹奏楽部は11月にそれぞれ新チームへと移行し、日々の練習を頑張り、様々な大会で活躍中です。



◇ 第3回学校運営協議会

12月15日（火）、本校校長室で第3回学校運営協議会（コミュニティ・スクール）が開催されました。この日は、授業の様子を参観していただいた後、学校経営についての説明、小中一貫教育の成果と課題、意見交換が主な内容でした。このご意見を参考にして、学校・家庭・地域が一体となって教育活動を充実させていきたいと思えます。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。さらに、本校ばかりではなく、山田小学校、中霧島小学校、木之川内小学校とも連携を深めながら、課題解決に取り組んで参りたいと思えます。今後ともお願いいたします。



第3回学校運営協議会で話題となった内容

1 学校の様子について

- 授業参観をした限り、落ち着いたある授業態度であった。また、生徒の表情が明るく、学習に真剣に取り組んでいるように感じた。
- 昼休み外で遊ぶ生徒が増えた。体育での取組もあり体力は向上してきた。
- ボランティアなど限られた環境下ではあるが、周りや地域に貢献しようとする気持ちは育っている。
- 豊かな心の育成については、SNSの危険性やスキルについての学習を積んでおり、一定の効果は上がっているが、保護者を含めて意識の低い生徒がおり、さらに強化しないといけない。12月10日に「スマホ社会の親力とは」を演題として保護者対象に講話を実施した。さらに生徒向けに23日に実施できた。

2 メディア・コントロールに関する取組について

- メディア・コントロールの取組とメディアに関する教育について、今年度、研究を進め、学力向上に努めてきた。11月下旬の調査によるとスマホの使用時間は1学期に比べると約50分減った。その分、家族との会話や手伝い、読書が増加傾向に転じたが、学習時間は変わらなかった。これから学習時間の増加や質の向上に向かわせて欲しい。

3 学習支援について

- 3年生対象に放課後学習会を週4回実施している。山田地区社会福祉協議会に依頼し、部活動終了時刻まで「学習会」を開いている。今後も個別指導の充実や家庭での学習習慣定着への支援をしていきたい。

お忙しい中、出席していただいた委員の皆様、ありがとうございました。地域の方々の知恵と力をお借りして、学校の運営について様々なご意見をいただきました。これからの一助とさせていただきます。